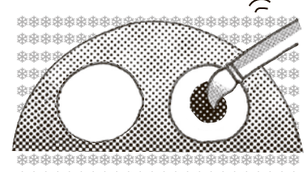
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2022 6

5年生へ 新年度に向けて、ココを確認しておこう！

協力：麻布個人指導会

中学受験の新年度である2月が近づいてきました。いよいよ受験学年となる5年生は、みなさん良いスタートを切りたいと思っていることでしょう。

そこで今年度最後の専門家庭教師の眼は、5年生が今やっておきたい4教科の勉強について、麻布個人指導会の2名の講師がポイントを絞ってアドバイスしています。ぜひ参考にしてください。

田上（たのうえ） 良一（りょういち） 講師

大手進学塾の指導経験を基に、合理的な算数・理科の指導を展開する。穏やかな人柄で上位校から中堅校を目指すお子さんにも寄り添って指導する、実力派の人気講師。

最近の合格実績
海城、芝、本郷、吉祥女子、鷗友学園、中央大附属、明大中野、国学院久我山、東京都市大付属、高輪、獨協、大妻、恵泉、開智、西武文理など。

算数 文章題を図におこせるかがポイントです

算数は6年生になったとたんに学習する内容やレベルがぐっと上がって難しく感じるお子さんが多くなります。塾のテストでも点数が急に取れなくなったという声もよく聞きます。そこを見越して今のうちから準備しておくのが大切です。

●比を使って図におこす力が試される

多くの塾で5年生の夏に比を学習します。するとほとんどの問題を比を使って解くようになります。ここでつまずくお子さんが多いです。問題自体が、比を使って解くことを前提として作られていますから、比を使って図におこせないお子さんは急に難しく感じるのだと思います。出てきた情報を比を使って図におこす力が試されています。

●面積図やダイヤグラムがかけますか

塾でも3年生・4年生の段階で線分図をかく練習はしますが、中には簡単だからかかなくてもいいと考えるお子さんもいます。ここでうまく使いこなせる癖をつけておかないと、より条件が複雑になってきたときに壁にぶつかることになります。

たとえば食塩水の問題も、今までは計算だけで求められる問題が多かったのが、面積図で比を使って解かないと求めにくい問題になっています。

速さの問題も図がかけるかどうかがポイントです。距離が一定の場合、速さの比は時間の逆比になります。ここでもダイヤグラムをかいて図形としてみて比を使って解くことが必要になります。

●3次元を2次元に変換してから解く

平面図形の問題も比を使っていかに相似形を見つけられるか、辺の長さをいかに比を使って表わせられるかが大事です。

立体図形でも立体を切断するとそこに相似形がたくさんできます。立体図形を平面図形に落とし込んで比を使って解く問題が多いです。ある塾では立体図形の切断面をかく練習を以前は6年生から始めていましたが、今では5年生から取り上げられています。

●計算練習を毎日のルーティンにする

計算問題についてはまとめてやるのではなく、短時間でも毎日行うことが大切です。勉強スタイルとして朝30分早起きして、継続して取り組むことをお勧めします。計算ミスが多い段階では、スピードを意識するのではなくて時間はかかってもいいので正確に解くことを意識してください。計算ミスは必ず改善できます。

理科 生物・地学の知識を増やすチャンスです

5年生で学習する生物や地学などの知識は、6年生になるとそれが前提となって身近な生活場面での問題や時事問題などでその知識を生かせるかどうかが問われます。5年生のうちに生物分野では植物・人体など、地学分野では地層・川の流れ・天体などの知識は総復習しておくべきです。受験校によっては植物の細かな知識まで問われることがあるので、苦手なお子さんは携帯用の植物図鑑を持って歩くのもお勧めです。

まずは一問一答形式の問題集で知識を固めましょう。しかし「ただ覚えなさい」と言っても無理がありますから、ここはご家庭の協力が必要です。学習した範囲を口頭で質問して定着度をチェックください。ゲーム感覚でよいのですが、成功のコツは決して本人に妥協しないことです。完璧に答えられるまで繰り返してください。

●算数で学んだ比がここでも大事

化学や力学の分野ではここ数年入試問題に大きな変化はなく、聞かれている内容や聞かれ方も決まっている印象があります。この分野では算数で学んだ比を使って解く問題も多く出題されます。てこやてんびんの問題は比を使わなければ解けません。

●身近なニュースを題材にして生かす

今後1年間の理科にかかわるニュースには注目してください。天気や地震、台風、月食などの気象に関するもの、地球温暖化・カーボンニュートラルなどの地球環境に関するもの、ノーベル賞に関するものなどです。そこでは細かな知識は必要ありませんが、何が問題になっているのか、新聞やネット情報などを教材にご家庭でも話題にしていただけると興味もわくと思います。

西田（にしだ） 知己（ともみ） 講師

中学受験の文系教科指導の専門家。経験に裏打ちされた論理的な指導とアドバイスが持ち味で、受験生の得点力を着実に引き上げて志望校に送り出している。

最近の合格実績
麻布、女子学院、雙葉、駒場東邦、渋谷幕張、海城、芝、攻玉社、学習院女子、頌栄、東洋英和、大妻、普連土、成城、芝浦工大附属、東邦大東邦、市川、昭和秀英など。

国語 仮名言葉やカタカナ用語が盲点です

学校や塾で取り組んでいる漢字や慣用句と並行して、意外と盲点になりやすい仮名言葉やカタカタの用語を早めにカバーしておきましょう。難しい漢字と違って、書く手間が少ないので5年生でも抵抗感が少ないと思います。

仮名については、とくに古い表現を押さえておきたいところです。たとえば、「いずれ（どちらか）の」と「いずれ（将来）は」の違い。「とはいえ」「すなわち」など。音読で引っかかるのは、だいたい平仮名続きの箇所になっているため、意外と見落とされていることがわかります。

●カタカナ用語は説明すると難しい

カタカナはSNS関連などで、最近とくに増えてきました。子どものほうが大人よりもくわしい場合もありますが、抽象的な言葉は苦手なことが多いようです。たとえば「リスク」「メリット」「プロセス」「セキュリティ」など。知識として、どこかで聞いたことはあるが、意味まで正確に理解していないことが多いと思います。正確に理解しているかどうかが、得点差につながります。

●今から無理に読書することは勧めません！

国語の読書については、これまで本を読む習慣のなかったお子さんに何冊も勧めても、それほど学習効果は期待できません。むしろ、あまり上位校ではない中学校の過去問の文章を、読書の教材として読むことをお勧めしたいです。

他の科目と違って、国語に関しては5年生の時点でもカバーできていない分野が少なく、原則的に「習っていないジャンル」はありません。また内容的に古くなることがないので、3年前や5年前の過去問でも問題なく、むしろ中古の過去問の方が安価で入手しやすい面もあります。

塾の教材の問題文に使われている文章も、そもそもは初級レベルの出題校の過去問が大半ですから、内容的には同じことといえます。モノによっては塾の模試よりも簡単で短文が多く、5年生にも読みやすい場合もあります。解く際に時間を計る必要はなく、書き抜きや記述問題は飛ばしてよいと思います。また答えを見て、答え方の参考にする使い方もあります。問題をまったく解かず、単に読書の教材にしてもよいと思います。

そうして短めの文章をたくさん読むことで、さまざまなテーマや文章の組み立てなどを知り、常識の幅も広げることができます。そこから得られる総合的な知識量は、数冊の読書から得られる情報よりもはるかに多く、中身が濃いため学習効率が高いと思います。

社会 「重大ニュース」を活用しよう

社会については、今売られている「重大ニュース」に目を通しておくことをお勧めします。今の6年生も昨年の本まで持っていることが多いのですが、大半は6年生のときに2冊まとめて購入したものと思われます。受験対策としては入試直前になってしまうので、なるべく5年生のうちから早めに取り組んでおくとよいと思います。

●公民学習の予習になる

今から時事問題に慣れておくと、6年生になって新たに始まる公民の予習になります。公民はどうしても抽象的なテーマ（憲法とか権利とか）になりやすいため、重大ニュースによって具体的な事柄から入っておけばハードルが低くなり、本人にとっても公民への抵抗感が減るはずです。

どの出版社の「重大ニュース」も子ども新聞的な作りで、振り仮名も多いです。普段から「小学生新聞」などを読んでいるなら、抵抗感は少ないと思われます。もちろん各国の首脳やノーベル賞受賞者など個々の項目は毎年変わりますが、環境問題や人権問題など大筋の傾向は変わらず、そのため来年の予習にもなります。

●地理・歴史学習のきっかけ作りにも

地理や歴史が苦手な方も決まっている印象があります。そこから関連する知識を広げるきっかけにする方法をお勧めします。たとえば昨今ではエネルギー問題や電力不足などにより、ヨーロッパなどではクリーン火力や小型原子炉など新技術が注目され、ベストミックスの配分がここ数年で変化してきました。そういったテーマは公民（時事問題）であるとともに、地理の問題でもあります。また世界遺産などは歴史の話でもあり、そこから歴史への興味につなげることもできます。

●様々な知識は国語の読解にも役に立つ

そうやって社会で身に付けた知識は、国語の説明文の読解にも役に立ちます。とくに国語の記述問題対策としても役に立つはずです。近年では物語文も最新の社会問題（コロナやSNSなど）を取り上げたテーマも増えてきたので、物語文の読解にも参考になるのではないでしょうか。

教務の現場から❽

●ペットと暮らす効用!?

最近家庭訪問をして感じることは、以前より犬や猫などのペットを飼っているご家庭が増えているのではないかということです。リビングの一角にワンちゃんのスペースが作られていたり、ご家族と一緒の写真が飾られていたり、まさに家族の一員として暮らしていることがうかがわれます。なによりもペットと暮らすことでコミュニケーションが増えご家族の一体感・幸福度が増しているのではないかと思いを巡らします。

家庭教師を派遣するご家庭はさまざまですが、実際にお会いしお話をうかがうことで初めてわかることもあります。お子さんの現状を正確に把握しお子さんに寄り添って指導できる講師を人選するために、これからも家庭訪問という機会を大切にしてご要望をしっかりと受け止めていこうと思っています。

教務：高野

学生は一切派遣していません

創立36年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

小6受験生へ　追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 冬休み直前 志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】本コースに入会金（22,000円）は必要ありません。

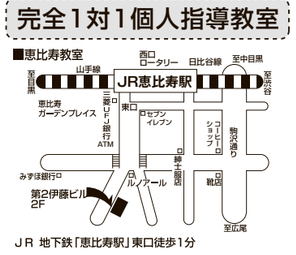
コース	6時間	10時間	14時間	18時間
指導料	54,450円	87,450円	119,350円	149,490円

※冬休み前からや年末年始の期間の受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
※上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、その他の費用はありません。
※回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

当会は創立以来、のべ6,000名以上の受験生を志望校へと送り出しています

「成績を伸ばしたい、志望校に合格させたい」。この家庭の要望に、当会は創立以来、中学受験の〝専門家庭教師〟のみを派遣してお応えしてまいりました。中学受験のサポートは、ぜひ当会にお任せ下さい。

完全1対1個人指導教室



5年生・4年生へ　新年度2月からの予約も受付中です

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　22,000円（税込）　一家庭無期限有効
●指導料　月額52,800円～79,200円（税込）〈 週1回・各2時間の授業で月4回の場合 〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師の指導力と相性をご確認下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。
■万一の場合には、別の講師による再度の体験授業を受けられます。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から 03-3440-1940
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F